立され、物心両面で学校を支援してきましたが、より強力な支援を行う為には静商会と同窓会が合併すべきであるという事になり、平成２年10月に静商会は同窓会と合併し発展的解散となりました。「静商会だより」は、平成３年３月の第５号で打ち止めとなり、９月の「静商同窓会報」創刊号へ引き継がれたものです。昨年の33号まで、多くの会員をはじめ関東・関西・中部及び県内各支部からも情報・記録など、貴重な記事をいただき、学校の状況も含め全国の会員へも会報を発信することができています。

今年も206人の新入生が学業はもとより、スポーツ、文化活動と文武両道に頑張っています。こうした在校生が卒業後も"母校への愛校心"に燃える学生に育ってほしいと思いますが、その為に我々同窓会として何をしてやれるかを学校とも常に意見交換し、学校や生徒が何を求めているか、又同窓会にとっても何を一番優先すべきかなど、テーマをしぼり、一つ一つ進めていきたいと思います。

こうした事業推進には皆様の"物・心"ともに支援が必要です。特に現状の大きな課題は、財務の情況であり会費の納入を必要としております。これは学校支援、同窓会運営にどうしても欠く事のできない問題です。諸先輩の皆様はじめ同窓会の皆様にもご理解をいただきご支援を賜りますようお願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

123年の歴史と伝統を重ね、AFTERコロナの静商へ

県立静岡商業高等学校校長　金　親　徳　行

同窓会の皆様方には、教育振興事業として、生徒奨励事業（部活動助成）や教育活動支援事業（外部講師招請、授業「課題研究」の研究活動助成）をはじめ、様々な本校の教育活動に対し、物心両面で多大なる御支援と御協力をいただきましてありがとうございます。

特に、令和２年度は、前同窓会長：赤石文男様と実行委員長：吉原徹郎様を中心に静商グラウンド等整備実行委員会の皆様の御尽力でグラウンド及びテニスコート等を整備していただきましたことに感謝し、学校を代表して厚くお礼申し上げます。

昨年度から静商同窓会の諸事業も延期・中止が続き、同窓会の皆様とともに静商を盛り上げる活動ができなくなっていることを残念に思います。新型コロナウィルス感染症の早期収束と全世界に日常が戻ることを強く願います。

現在もコロナ禍ですが、withコロナで新しい生活様式の感染症対策をしながら経済社会活動・教育活動を動かす段階に入り、静商生の活躍の場が戻ってきました。静商生の売りであり武器となる検定資格、部活動、地域貢献活動などに工夫をしながらチャレンジして行きたいと思います。

令和２年度静商最大の吉報は、硬式野球部・高田琢登君のプロ野球横浜DeNAベイスターズからのドラフト指名です。高田晋松監督との親子鷹で叶えた夢。静商から27人目となるプロ野球選手の誕生。本人の努力・精進は言うまでもなく、チームメイト、お世話になった指導者・地域社会・学校関係者・報道関係、高田琢登君に関わったすべての皆様のお陰です。これからの活躍を応援して行きます。この他にも、軟式野球部県大会優勝・東海大会出場、男子ソフトテニス部東海大会出場、課題研究「SEISHO ファンクラブ研究」の企画・立案・運営による"おまち×静商『医療従事者とおまちへのエールプロジェクト』"のJR静岡駅中心街パレード＆パフォーマンス（音楽部、応援団部、チアリーディング部参加）、音楽部第72回定期演奏会などコロナ禍でも静商生の活躍で地域を明るく元気にすることができました。

"感動はチャレンジのあるところにしか生まれない。"

さて、５月13日、下村同窓会長様をはじめ同窓会本部役員の皆様の御臨席をいただき、染色家小川良子様（本校1964年卒業）から型絵染の作品「たびだち」を寄贈していただきました。希望や夢を表した球が母や大地の意味を込めた女性の手から旅立つ様子を表現した作品で、多様な進路を目指す静商生にはぴったりです。校長室前に展示し、静商生の巣立ち（進路実現）を願います。そして、芸術家、プロ野球選手、政財界で活躍する方々など３万６千人を超える静商同窓生の文武芸の活躍に改めて敬意を表します。

創立123年目の歴史と伝統があり、静岡県商業教育の拠点校である静商の更なる飛躍・発展のために教職員とともに全力で取り組んで行きますので、今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

最後に、AFTERコロナの静商に夢と希望を描き、静商に幸多きことを祈念します。

生徒の概要

学年	学科	クラス数	生徒数 男	生徒数 女	生徒数 計
一学年	商業科	4	59	92	151
	情報処理科	2	31	24	55
二学年	商業科	5	72	127	199
	情報処理科	2	38	40	78
三学年	商業科	5	71	131	202
	情報処理科	2	47	33	80

クラブ名	人数	クラブ名	人数	クラブ名	人数	クラブ名	人数
硬式野球	61	卓球	9	応援団	16	華道	18
軟式野球	27	サッカー	69	バドミントン	27	茶道	32
男子バスケットボール	33	弓道	47	チアリーディング	23	情報処理	35
女子バスケットボール	20	剣道	6	音楽	36	美術	14
女子バレーホール	27	柔道	7	珠算	2	文芸	24
男子ソフトテニス	27	水泳	14	簿記会計	24	家庭	40
女子ソフトテニス	28	陸上競技	28	書道	35	ワープロ	36